

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	小林 由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	庁内において、表現ガイドの認知度及び活用頻度が低いため、更なる周知を行い活用頻度の向上を図る。また次期推進計画策定に伴い、男女共同参画アンケートを実施する。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	令和3年度からを計画期間とする次期「鎌ヶ谷市男女共同参画推進計画」の策定を行う。
②①に基づく取り組み結果	表現ガイドの活用を周知するとともに、広報かまがやの担当部署に対し、男女共同参画の視点に配慮した広報を行うよう依頼し、改善を図った。また、次期推進計画策定にあたり、市民・事業所・市職員・市教員に男女共同参画アンケートを実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	庁内各課	意図(対象をどうするのか)	職場や家庭、地域等様々な場での女性参画の推進を図る。
②事務事業の概要	男女共同参画の推進を図るため、男女共同参画推進計画に基づく各施策を実施する。また、令和3年度からを計画期間とする次期計画の策定を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	全国的に人口減少している中で、家庭や職場、地域等あらゆる分野において男女が支え合いながら能力を発揮していく男女共同参画社会形成のため、全庁的に取り組む事業と考えられる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	男女共同参画推進計画の各事業について、関係各課と共同で取り組んだ。					
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i	審議会等女性委員の割合	28.3	26.5	29.6	% 業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	2,606	4,902	金額(千円)	内容	689	
	国支出金(千円)		170	男女共同参画計画策定委員会委員報償		
	県支出金(千円)		41	男女共同参画推進懇話会委員報償		
	市債その他(千円)		2,178	男女共同参画アンケート調査委託		
	一般財源(千円)	2,606	4,902		689	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	少子高齢化・人口減少等社会情勢が大きく変化している中、男女があらゆる分野で性別にとらわれず、対等な立場で参画できる社会形成が重要となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	男女共同参画推進計画の各施策について、男女共同参画推進懇話会からの意見を踏まえ課題等を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越	
		H30⇒R1繰越				
③達成状況	0	補正		0	現年分	
		流用・充当				
④未完了・非着手の理由	令和2年度への繰越額(単位:千円)					

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	小林 由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	情報誌の発行回数見直しや内容等について、令和2年度から改定できるよう、そのための検討・準備等を進める。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	庁内における男女共同参画意識を推進するため、市管理職を対象とした男女共同参画研修を実施する。
②①に基づく取り組み結果	情報誌の発行回数の見直しを行い、年4回から2回に変更した。周知強化のため、これまでの市内公共施設への配架から、自治会班回覧に拡大した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・職員・事業所	意図(対象をどうするのか)	セミナーの実施や情報誌の配布により、男女共同参画意識の醸成を図る。
②事務事業の概要	男女共同参画推進センターの運営、男女共同参画推進を図るための講座や啓発事業を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民ニーズが多様化していることから、事業の企画立案にあたってはニーズに対応し、ターゲットを絞った事業の実施が必要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	男女共同参画の推進を図るための講座や啓発事業を実施し、男女共同参画意識の醸成を図った。					
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i 男女共同参画週間	237	130	307	人	業務取得
	ii 情報誌の発行	4	4	2	回	業務取得
iii						
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	7,644	6,323	金額(千円)	内容	6,540	
国支出金(千円)			1,131	プロジェクトマネージャー報酬		
県支出金(千円)			832	女性のための相談業務委託		
市債その他(千円)			540	一時保育業務委託		
一般財源(千円)	7,644	6,323			6,540	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	男女共同参画推進センターのさらなる利用促進を図る必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	男女共同参画を推進するため、講座や啓発事業の充実を図るとともに、市民活動・男女きりりフェスタを市民公益活動団体を中心とした実行委員会の主催とすることで、男女共同参画に興味のある人材の活躍の場とした。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		0
		H30⇒R1繰越		
③達成状況		補正		現年分
④未完了・非着手の理由	令和2年度への繰越額(単位:千円)			